

教育ひょうご

発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10-8

兵庫県教職員組合

発行人 山名 幸一
編集人 西嶋 保子
電話 078 (241) 2345
1部7円 年定価280円
(組合員の購読料は組合費の中に含む)

2008/4・11

No. 1714

2面

「せんせいのあかべん
何かおしゃべりしているよ」
—「こどもの詩と絵」から

新・旧支部三役合同会議

活動の基盤は分会、連帯の輪を広げよう

3月28日(金)から29日(土)の2日間、六甲スカイヴィラで兵教組は、「新・旧支部三役合同会議」を開催した。



冒頭山名幸一執行委員長は、「多忙化にどう歯止めをかけ、苦勞している教職員にどう連帯の輪を広げ拡大するのか。教職員組合運動に課せられた課題である。学校現場、分会活動を活性化させながら、ボトムアップ型の組合活動を展開していく」と語った。(要旨掲載)

「日教組女性部運動を通して」と題した星恵子前日教組女性部長から講演があった。(次号要旨掲載)

2日目、引き続き協議事項の確認と質疑・討論が行われた後、新年度の取り組みを意思統一した。

職員組合活動でなければ、国民、市民に打つて出よう。教職員組合活動は、人と人をつなぐ運動。我々の闘いや運動が、社会のため、子どもたちのため、世の人々のために共に役立つ運動でなければ、国民に理解されない」と語られた。兵教組も教育研究を全ての国民、市民と共に共有していこうという理念で打って出た。子どもたちの教育条件整備を根底においた、教

職員の組合活動でなければ、国民、市民の理解は得られない。私たちの社会変化、政治革新をめざす考え方の基本は、子どもたちの未来豊かな将来を考えることにある。戦後60年、とうとう教育基本法が変えられてしまった。教育の根幹を形成する理念法。学校現場に何の影響があるのかと思うかも知れない。しかし、付随する様々な法律が順番に変えら

れ、最後に教科書が変えられたときに気づくことになった。事実、小中学校の学習指導要領の総則に、国と郷土を愛する日本人を育成するという文言が新たに盛り込まれた。教基法の「改正」が次第に具体化し始めている。一方、県内公立小学校、早期退職の教職員が急増。今年度390人、10年前の4倍を越える。保護者対応、授業増加、多忙化が一因かという記事が神戸新聞に出た。教職員は、孤立しているのではないのか。お互いがお互いを支え合っている。協力、協働である限り、活動の基盤は分会であ

り、職場にある。本部も支部も含め、個々の組合員に届く活動をどうするか、英知を絞らなければならない。語り継ぐ兵教組60年を、是非全員読んでほしい。お互いの顔を見ながら討議し、組合のとりくみについて話し合う。そういう熱気を分会に取り戻すため、本部支部はどうするのか。1200名の新任教職員を迎えるその基本は分会。学校現場、分会活動を活性化させながら、ボトムアップ型の組合活動を展開していくことを意識し、一年間の組合活動を力合わせをしながら展開していこう。

山名委員長あいさつ要旨
日教組森越委員長が退任の

可又口初一回 第一組教

法・子どもの権利条約の精神を生かし、兵教組基本とした組織力の強化と、子どもを中心に据え

～教子を再び戦場に逆

08年度 本部執行体制がスタート

08年度の本部執行体制がスタートした。新たに3名の役員が加わり、組合員の先頭に立つ新体制で、新年度の運動がはじまった。()内は出身支部。

 高橋 直之 書記次長・法政部長 (神戸支部)	 泉 雄一郎 書記長 (伊丹支部)	 川原 芳和 副委員長・財政部長 (芦屋支部)	 山名 幸一 執行委員長 (姫路支部)
 北谷 錦也 教文部長 (加印支部)	 谷口 吉一 賃対部長 (西宮支部)	 川元 聡 組織部長 (美方支部)	 田中 聡 生活部長 (揖龍支部)
 藤井 司郎 兵庫教育文化研究所 事務局長 (宍粟支部)	 松井 義夫 総務部長 (兵教組職員)	 西嶋 保子 広報部長・情報管理部長 (三田支部)	 小西 宏典 教財部長 (川西支部)
 吉田 順子 兵庫教育文化研究所 副所長 (宝塚支部)	 忌部 淑恵 兵庫教育文化研究所 副所長 (川西支部)	 日下 芳宏 兵庫教育文化研究所 事務局次長 (津名支部)	 松浦明日香 兵庫教育文化研究所 事務局次長 (多紀支部)

WELCOME TO 教職員共済生協

「教職員共済生協」が応援します！

長い人生には、病気・けが・事故といった予せぬリスク(危険)が潜んでいます。そこで、こうしたリスクに備えるために誰もが加入しているのが保険や共済です。でも、これほど大事なもののなのに、内容をよく理解せず、勧められるままに加入していませんか？ しかも、人が生涯に支払う保険料は、人生においてマイホームの次に高い買い物と言われています。だから、できるだけ無駄のないように、ライフプランにあわせて、どんなときに、どんな保障が、どれだけ必要なのかを若い頃から理解しておくことは大変重要なことです。それでは、実際にはどうしたらよいのでしょうか？ そんなとき、あなたの力強い味方となるのが「教職員共済生協」です！

WHAT'S 「教職員共済生協」？

「共済？」ちょっと聞き慣れない言葉かもしれませんが。簡単に言うと、共済とは保険の手法を使用した、加入者同士の相互扶助による保障制度です。教職員共済生協は、全国の学校・教育機関を職域とする、厚生労働省認可の唯一の共済生協です。生協は営利を目的とした組織ではありません。しかも、教職員の皆さんを対象にしているため、事故の発生率が低く、そのため少ない掛金で大きな保障が実現できました。教職員共済生協には、自動車事故や火災といった損害補償や、あなたやあなたの家族の万一に備えた死亡保障・医療保障、セカンドライフのための保障まで、ライフプランをトータルに、そして生涯にわたってサポートする様々な共済がラインナップされていますので、あなたに必要な保障が必ず見つかるはずです。ぜひ、あなたもこの助け合いの輪に参加しませんか！

教職員共済生協安心の理由

現在、教職員共済生協の組合員は全国で約54万人。総資産・掛金収入ともに毎年着実に成長しています。また、消費生活協同組合法などの法令により、「企業等法人への貸し付け」や、「不動産投資」を行っていませんので、不良債権のない健全な経営基盤をもっています。※教職員共済生協では、毎年の決算および財務内容をホームページやディスクロージャー資料等で組合員への開示を行っています。

総資産の推移

1965年	1975年	1985年	1995年	2006年
4億円	126億円	800億円	4,700億円	6,990億円

教職員共済生活協同組合兵庫県支部
支部長 山名 幸一
〒650-0004 神戸市中央区中山手通4丁目10番8号 ラッセホール4F

電話 078-221-9730 自動車事故受付専用電話
FAX 078-221-1199 0120-492509

「こどもの詩と絵」表彰式・発刊記念集会

せんせいのあかペン 何かおしゃべりしているよ



赤穂市高雄小学校6年 岡野 雄太



姫路市香呂小学校1年 田中 俊介

子どもたちの詩と絵を教室から募集。一冊の本にする運動は、1980年の国際児童年からはじまり、今回で28集になる。兵教組は子どもたち、ひとりひとりの表現を大切に活動を行ってきた。情報社会、デジタル時代といわれる現代においても、子どもたちはいきいきと自分を表現している。この作品集「こどもの詩と絵」が、学校や家庭で語り合われ、人々に癒しと励ましをあたえるものとなることを心から期待する。

(発刊のこぼれ)

にほんのじをみたよ

神戸市東落合小学校 一年 平原 千聖

いもうとが
ちいさいにじをみつけたよ
わたしとおとうさんが
おおきいにじをみつけたよ
おかあさんとおねえちゃんも
びっくりにみえたよ
みんなみていたら
しあわせなきもちがしたよ

3月23日(日)、ラッセホールで兵教組は「こどもの詩と絵」第28集、表彰式・発刊記念集会を行い、約570名が参加した。

応募総数、詩835点と絵1021点の中から、詩106点、絵133点が掲載された。集会はオープニングに、歌・水谷やよいさん(加西・北条東小)とピアノ・河原恵子さん(加西・北条東小)によるミニコンサートがあった。続いて入選者の代表に賞状が手渡され、絵の説明、詩の朗読が行われた。第28集の中から数点を紹介する。

あかペン

たつの市神部小学校 三年 井川 友里

せんせいの
あかペン
なにか
おしゃべり
しているよ
きゅっきゅっ
って
なんだか
ゆりちゃん
ゆりちゃん
きこえるよ

初めてヒットを打った

淡路市富島小学校 四年 森田 裕哉

五回に打ったヒットが次に
つなげられてうれしかった
レフト前だった
センターに打ちたかったけど
母さんもよろこんでいた。
みんなもうれしそうだった。
インコースにきたのを打った
打った時、ショートゴロかと思っただけど、
ヒットが打って、うれしい。
ヒットって気分ええなあ。

おふろでカンパイ

姫路市中寺小学校 二年 市はし ゆい

「ひさしぶりに三人でおふろに入るか。」
とお母さんが言った
「せまいからいややなあ。でもたのしそうやなあ。」
お父さんのふくにつかまってふろ場に行った
お父さんのせなかをお母さんがあらった
お母さんのせなかをわたくしがあらった
あわだらけにしてあらった
「しりもちもあらってあげようか。」
「あははは。」
お母さんが大わらいした
「あははは。」
わたしも大わらいした
三人でゆぶねにつかった
ザバーツ
おゆがあふれた
あおもつたいない
半分いじょうへってしまった
お父さんとわたしとお母さん
かもつれつ車みたいにいれつになつて
ゆぶねにすわった
三人しすかにすわっていた
「はらりくらくらく。」
ふしをつけてうたつた
お父さんもお母さんも
しすかにわたしのうたを聞いていた
「あはははは。」
わたし一人大わらいした
シャンプー(二リンス)こ
三このふたに水を入れて
三人でかんぱいをした。
「カンパイ。」

「素直」

揖保郡太子西中学校 三年 愛美 辻

辛くなったら
弱音はけ
寂しくなったら
頼ればいい
いいことあったら
笑いまくれ
嫌なことがあったら
泣きまくれ
自分の気持ちに
素直に生きていけばいい



淡路市一宮中学校3年 中尾 瞳

『ひょうご2007 こどもの詩と絵』第28集

主催 兵庫県教職員組合・兵庫教育文化研究所・ひょうご協賛 (財)兵庫県学校厚生会・ゆたかな教育の創造を



集いのあと、みんなで記念撮影する様子。(3月23日、ラッセホールで)

2008年度 アートホール神戸 写真公募展～こどもの世界～ “愛” 作品募集

主催 (財)兵庫県学校厚生会 後援 兵庫県、兵庫県教育委員会、兵庫県教職員組合

テーマ

こどもの世界 “愛”
教育現場や地域・家庭における子どもの姿や、動植物への“愛”など、愛情あふれる作品を募集

応募資格

会員とその家族

応募締切日

7月25日(金) [必着]

作品規定

四つ切サイズまでのカラー・モノクロプリント
※デジタルカメラで撮影した写真も印画紙プリントでご応募ください。

応募方法

応募作品の裏面に下記「応募用紙」(コピー可)を貼り付け、ネガ・媒体を添えて各支部事務所または公益事業部までご応募ください。

賞

兵庫県知事賞(1点) 兵庫県教育長賞(1点)
兵庫県学校厚生会理事長賞(2点) 審査員特別賞(2点)
アートホール神戸賞(2点) あさご芸術の森美術館賞(1点)
入選・佳作(若干) 参加賞(応募者全員に進呈)

審査方法

審査は、主催者が委嘱した審査員によって行います。

特別審査員 織作 峰子 氏 大阪芸術大学写真学科 教授

●前回の「写真公募展～こどもの世界～」総評より●

この写真公募展を意識して、日ごろのシャッターチャンスをとらえることを考えると、児童・生徒と教師のいいコミュニケーションが生まれるのではないのでしょうか。

入賞発表

入賞者へは直接通知します(8月上旬予定)。

展 示

入賞作品は、アートホール神戸での「写真公募展～こどもの世界～ “愛”」で展示します。
開催期間 8月28日(木)～9月2日(火)
10:00～18:00 ※最終日は16:00まで
●あさご芸術の森美術館にて開催(9月中旬予定)

応募・問い合わせ先

公益事業部

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通4-7-34
☎(078)331-9968 FAX(078)331-8050

応募上の注意

・作品は、自作の未発表または発表予定のないものに限り、
・デジタルカメラの場合は印画紙プリントと、画像データを保存した媒体(CD-ROM・MO・FDなど)を添付してください。
・添付の媒体などには、名前をご記入ください。
・複数応募いただけません。
・組写真は受け付けできません。
※ネガ・媒体などについては、展示期間終了後順次返却いたします。(10月以降)
※ご応募いただいた写真の著作権は応募者に帰属しますが、事前確認の上、広報物に使用させていただく場合がありますので、ご了承ください。